

平成 30 年度 事業所向け 放課後等デイサービス 評価表

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|---------|----------|---|---|-----------|-----|---|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | | |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | | ○ | | 基準上問題ないが、送迎の対応や、より細やかな支援をするためには足りない。現在、職員の募集をしている。 |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | ○ | | | |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | ○ | | | 毎日の打ち合わせや、毎週行われる会議によってその都度、課題について話し合いを行っている。 |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | | 年に一回行っている。 |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | | ホームページに公開している。 |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | | ○ | 実施できていない。法人として行いたい意向はある。 |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | | ○ | | 外部研修の参加などしているが、内容をさらに充実させて必要がある。 |
| | 適切な支援の提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | |
| ⑩ | | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | | | ○ | 事業所独自のものを使用している。他事業所とも意見の交換をしながら、ツールの利用など考えていきたい。 |
| ⑪ | | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | | 毎日の打ち合わせや、毎週行われる会議によってプログラムについての話し合いをしている。 |
| ⑫ | | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | | ○ | | 季節の行事なども取り入れながら工夫している。一方で、固定化したプログラムにより落ち着いて過ごせる利用者もいるので、本人の様子に配慮しながら、活動への参加を促している。 |
| ⑬ | | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | | ○ | | 休日では、平日の利用ではできないようなことをできるように心掛けている。 |
| ⑭ | | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | できているが、集団での活動を苦手とする利用者もいるので、負担にならないように活動の参加の促し方など配慮が必要だと思われる。 |

| | | | | | | |
|--------------------------|---|--|---|---|---|--|
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | | 行っている。継続していく。 |
| | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | | | 行っている。継続していく。 |
| | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | | ○ | | より個別支援計画に沿った記録を残すことが出来るように、12月より支援記録の書式を改善した。職員一人一人が技術を向上させ、統一した記録を書くことが出来るようになる必要がある。 |
| | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | | 毎週の会議で利用者の情報を確認し、新たな課題が出た際や、計画が早く達成できた際など必要に応じて計画の見直しを行っている。 |
| | ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか | | ○ | | ガイドラインの理解を深められるように定期的に読み返していく。 |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | | ○ | | 概ね児童発達管理責任者が出席しているが、支援員が出席することもある。いずれにおいても事業所内で課題や支援の方向性を確認したうえで出席するようにしているが、職員のスキルの向上の必要性はある。 |
| | ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | ○ | | | 学校が行った会議への参加をし、予定や緊急時の連絡など確認している。 |
| | ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | | ○ | 現在該当者はなし。設備や人員が整えば受け入れていきたい。 |
| | ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | | | ○ | 現在、行っていないが必要に応じて対応していきたい。 |
| | ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | ○ | | | 担当者会議に出席し、情報の提供を行っている。 |
| | ㉕ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | | | ○ | 必要に応じて行っていく。 |
| | ㉖ | 障害のない子どもや地域と活動する機会があるか | | | ○ | 地域のイベントや店を利用するなどして地域と関わることがあるが、ともに活動するまでには至っていない。 |

| | | | | | | |
|------------|---|---|---|--|---|---|
| | ⑳ | (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか | ○ | | | 参加している。 |
| | ㉑ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | | 連絡帳や 送迎時の対話等を通して情報の共有にとめている。 |
| | ㉒ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | | | ○ | 十分とは言えないため、検討が必要。 |
| 保護者への説明責任等 | ㉓ | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | | 契約時に行っている。施設内にも掲示している。 |
| | ㉔ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | | | ○ | 職員一人一人のスキルを上げ、どんな相談にも答えられるようにしていきたい。 |
| | ㉕ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | | ○ | できていない。実施の可能性を検討している。 |
| | ㉖ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | | 契約時に説明している。また、施設内に掲示している。 苦情あった際は速やかに対応させよう。 |
| | ㉗ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | | | 行っているが、発行間隔が空いてしまうのが課題。 ホームページの更新もより積極的に行っていきたい。 |
| | ㉘ | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | | 継続していく。 |
| | ㉙ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | | | ○ | |
| | ㉚ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | | ○ | どのような方法なら達成できるか、検討していきたい。 |
| 非常時等の対応 | ㉛ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | | | ○ | 施設内では閲覧可能であるが、周知には至っていない。 |
| | ㉜ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | | 様々な場面を想定した訓練をしていきたい。 |
| | ㉝ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | | | ○ | セルフチェックや施設外研修の受講等行っているが、さらなる充実を図っていきたい。 |

| | | | | | |
|----|---|---|---|--|---|
| ④① | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | ○ | | | 書式等の整備を行い準備はできている。現在、対象となる利用者はいないので、実際に行ってはいない。これからも身体拘束のない支援を目指していく。 |
| ④② | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | | ○ | | ご家族からの依頼や情報により対応しているが、主治医の指示書まではもらっていない。 |
| ④③ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | | 会議のたびに確認をしている。些細なことでも事故につながるという意識を常に持ち続けられるようにしていきたい。 |